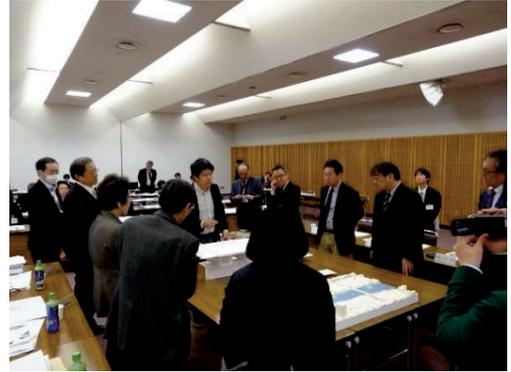


「第4回新大橋景観検討委員会」を平成30年3月13日（火）に開催しました。今回は、これまでに決定した「新大橋整備基本方針」、「橋の基本形状」に沿って、また、委員会や市民意見交換会でのご意見を踏まえた橋本体のデザイン案、橋上空間のデザイン方針案について議論していただきました。

その結果、橋の外観を形づくるデザインが概ね決定するとともに、橋上空間のデザインの方向性が決まりました。



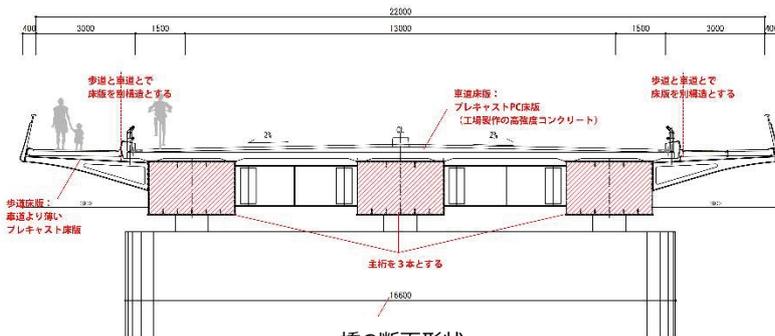
## 1. 橋全体のデザイン

景観、構造の合理性、維持管理性を更に向上させる検討を行い、橋全体のボリューム感を軽減し、大橋川の風景をより引き立てる、佳麗な橋となりました。

（佳麗：美しく整っている＝新大橋整備基本方針より）

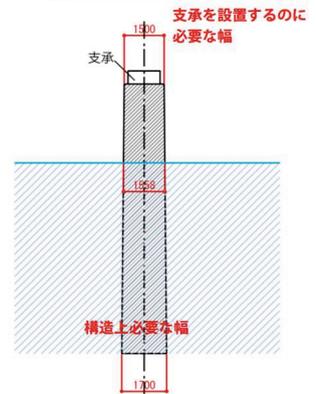
【前回提案からの変更点：工場製作の床版を採用】

これにより、箱桁の数を4から3へ減らし、桁の厚さや橋脚の幅を絞ることができました。

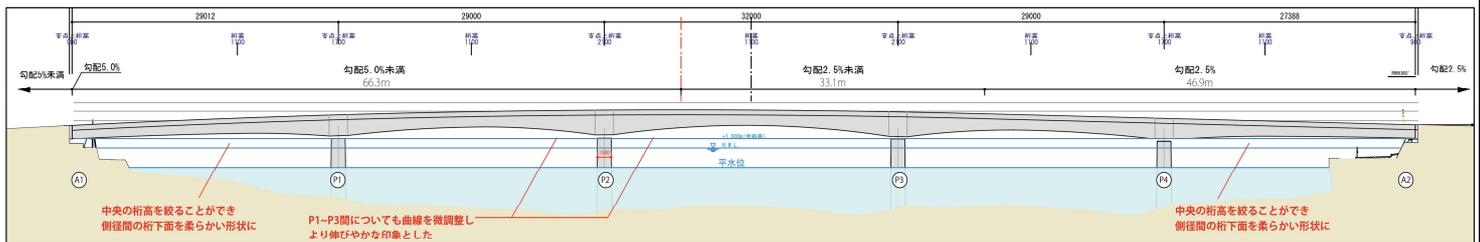


橋の断面形状  
（前回の提案より橋桁の数を減らし、橋脚の幅を絞る）

水面上に見える部分の幅を抑えることができる



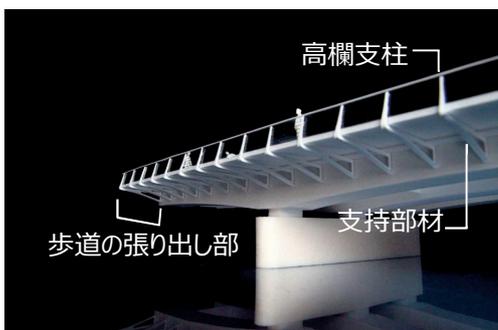
橋脚の側面形状  
（橋脚の上幅を絞る）



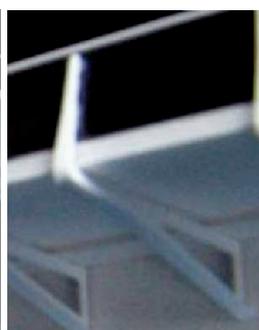
橋の側面シルエット  
（前回の提案より桁の高さを絞る）

## 2. 橋近景のデザイン

歩道の張り出し部の支持部材と高欄（欄干）を一体のデザインとすることで、近景では繊細な印象で、特徴的な外観の橋となりました。



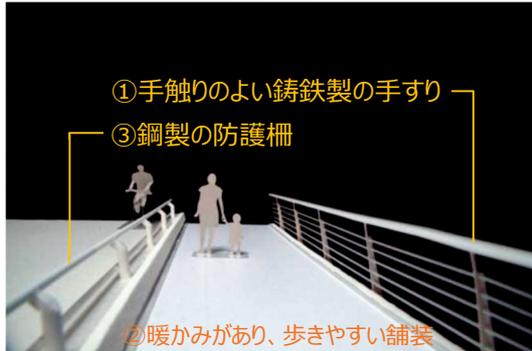
支持部材と高欄支柱を一体のデザインに



繊細な印象で特徴的な外観

### 3. 橋上空間のデザイン方針 ⇒ 以下の方針に沿って今後のデザイン検討を進めます。

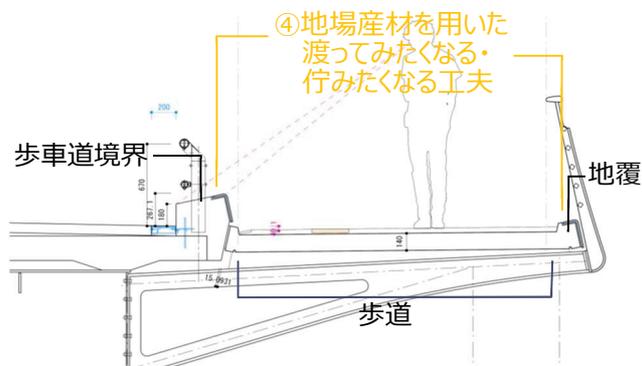
- ①高欄の手すりは、手触りのよい鋳鉄製とします。  
高欄本体は、水面への見通しがよく、水面を近く感じられる横棧タイプとします。
- ②暖かみがあり、歩きやすい敷き均し系の歩道舗装とします。
- ③歩車道境界に、鋼製の防護柵を設置します。
- ④歩く人を心地よく誘導し、夜の演出にも配慮したフットライトを設けます。
- ⑤歩道端部（地覆、歩車道境界）に渡ってみたいくなる・佇みたいくなる工夫をします。



(①参考：鋳鉄製の手すりの事例)



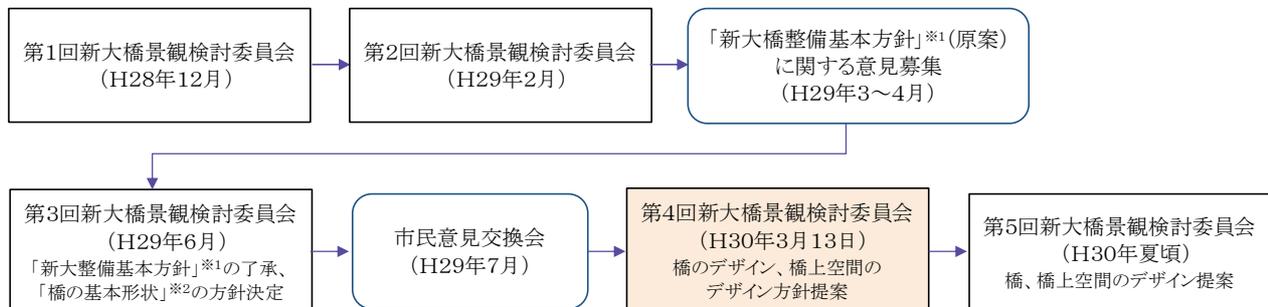
③フットライトで歩く人を心地よく誘導し、夜の演出にも配慮 (照明のイメージ)



参考：地場の釉薬を用いた器

(④参考：素材のサンプル)

### ●これまでの景観検討の経過と今後の予定



※ 1「新大橋整備基本方針」とは、新大橋整備が目指す方向性と新大橋の設計を進めていく上での留意事項を定めたものです。

※ 2「橋の基本形状」とは、橋本体の大まかな外形のことです。

お問い合わせ先：新大橋景観検討委員会 事務局：島根県都市計画課計画グループ

Tel:0852-22-5699/Fax:0852-22-6004

※新大橋架け替え等事業に関する HP を開設しています。

[http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/road/kikan/matsue\\_kendo/sinoohasi/](http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/road/kikan/matsue_kendo/sinoohasi/)